

## 第251回:A株銘柄の略称別称あれこれ

上海香港の証券取引所が共同歩調で始めた<sup>フガントン</sup>滬港通取引(上海A株と香港株のクロスボーダー取引)が今月から解禁され、中国経済が金融緩和に向かうなか、国共合作ならぬ滬港合作の相乗効果が期待されている。中国株に強みを持つ弊社も12月より日本国内でA株の取り扱いを開始するが、ペトロチャイナや中国銀行のように、上海・香港に重複上場しているA株は取扱い対象から外しているため、対象の銘柄は全て初顔の銘柄ばかりである。そこで問題になるのが銘柄の日本語呼称だ。

例えばコード番号600804「鵬博士電信伝媒集团股份有限公司」、成都に本拠を置く通信サービス会社。これを当社の真面目なアナリストは「鵬博士電信伝媒集団」とチョットだけ縮め、《ほうはかせでんしんでんばいしゅうだん》とフリガナを振っているが、これ寿限無ジューゲムではないが長すぎるのでは？もし投資家と証券会社の営業員が、鵬博士を売った買ったで問答を繰り返したら、どちらかが舌を噛み切り、救急車がすっ飛んでくる恐れがある。無理やり銘柄名を縮める必要はないが、むかし日本の証券業界が日本航空《ニッコウ》と区別するため、日本鉱業を《ヤマニッコウ》と呼んだような智慧も時に必要だろう。筆者なら英語読みで、《ドクター・ポン・テレコム(&メディア)》と呼ぶけど。

次は600019の宝山鋼鉄《ほうざんこうてつ》。この呼称はこれで正しい。業界では「宝鋼集団」の英語読みで「バオ・スチール」と呼ぶことが多いのだが、正確に云うと国有企業の「宝鋼集団」の下に上場会社の「宝山鋼鉄」が置かれており、宝山鋼鉄の英文呼称は《バオシャン・アイロン&スチール》だ。が、たまには《バオ・スチール》と呼んでも罰は当たらないだろう。この会社、中国最大の製鉄会社で、日本の新日鉄や日立、東芝等から設備と技術を導入した経緯は山崎豊子の「大地の子」に詳しい。因みに宝山区は揚子江の河口に面し、上海市内を流れる黄浦江が揚子江と合流する地点であるが、上海の中心部から直線距離で20キロもあり、宝山まで行ったことのある上海人は多くないだろう。

次は600031、三一重工《さんいちじゅうこう》。長大なクビを誇る「中国の大キリン」。中国建機メーカーの大手で、コンクリート機械で世界首位、油圧ショベルでも中国首位。赤い「SANY」のロゴから《サニー》、《サニー・ヘビー・インダストリー》とも呼ばれる。中国の大手建機といえば奇しくも同じ湖南省・長沙市を本拠とする国有・中聯重科(香港01157、深圳A000157)と民間・三一重工がしのぎをけずってきたが、2年前に三一重工が本社を北京に移したことが、「中聯重科と三一重工の積年のバトル」としてマスコミに喧伝され、中聯重科が嚴重抗議を行った経緯がある。

600066の鄭州宇通客車、これを当社は《ていしゅううつうきやくしゃ》とフリガナを振っているが、これは読み難い上に聞きづらく感心しないね。鄭州は河南省の省都であり、同社は鄭州に本拠を置く中国最大のバス製造会社(国内シェア3割)である。同社のHPによると、同社は自らを「宇通客車」と称しており、ここは鄭州を省略して《うつうバス》もしくは《ユートン・バス》と呼ぶのがスマートだろう。「宇通」とは【宇内(天下)に通じる】ようにと願いを込めた造語かな。

600085、北京同仁堂《ぺきんどうじんどう》。世界最大の漢方薬メーカー。2年前に腐敗の咎で失脚した重慶のチンドン屋こと政界の感星・薄熙来(前・中共中央政治局委員)、習近平のライバルでもあった彼の前職

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

は日本の経産相に相当する商務部長であり、彼の時代に中国の伝統ある百数十の「中華老字号(老舗)」が認定され、同仁堂は北京榮宝齋(文房四宝)、上海老正興(上海料理)等と並び、第一陣で認定されている。同仁堂の創立は清の康熙8年(1669年)、雍正元年(1723年)には御用薬商の榮に浴し、宮闕に出入りする特権を与えられ、清朝八代の皇帝に仕えた名門だ。いまは習近平に仕えているとか。

**600104、上海汽車集団**《しゃんはいきしゃしゅうだん》、上海最大の自動車メーカーで、独 VW や米 GM との合併が主たる事業。どうして、こんな大メーカーが香港に上場してないのか不思議に思うくらいの中国基幹産業の雄だ。ちょっと不思議なのが英文呼称で、同社は「Shanghai Motor」ではなくては「SAIC Motor」だ。なぜなら、同社株式の約8割を保有する親会社(国有企業)「上海汽車工業(集団)総公司」の英文名称が Shanghai Automotive Industry Corporation (Group)、略称 SAIC。だから上場子会社が SAIC Motor と云う「上海自動車工業自動車株式会社」といった感じのヘンテコリンな名前となっている。どうでもよいウンチクだから、すぐ忘れて欲しい。

**600309、万華化学集団**、呼称《ばんかかかぐしゅうだん》で良いだろう。芳香族の世界は受験勉強の頃から大の苦手であり、同社の主力商品 MDI とはポリウレタン原料の一種らしいと云うことで勘弁して欲しい。山東省出身の丁建生社長は中国を代表する大物財界人として有名。

600315上海家化聯合、《しゃんはいかかれんごう》、トイレタリー、化粧品大手メーカーだ。どうもぞっとしない日本語読みだが仕方ない。英文呼称の Shanghai Jahwa United もピンとこないからね。

**600519、貴州茅台酒**、《きしゅうまおたいしゅ》。周恩来首相がニクソン大統領や田中角栄首相と52°のマオタイで乾杯し、中国の門戸を開いたことから、一気に世界の銘酒に。ニクソン回顧録によると周恩来から贈られた52°のマオタイ酒が燃えることを家族の前で証明しようとしたニクソンがボウルに入れて点火したところ、メラメラと燃え出し、その熱でボウルが割れ、紅蓮の炎が絨毯に移ってしまった。ニクソン一家が必死になって消火に当たったお蔭でホワイトハウスは焼失を免れたとか。

**601098、中南出版伝媒集団**、《ちゅうなんしゅつぱんでんぱいしゅうだん》。上記の「鵬博士～」と同様で、伝媒をベタに《でんぱい》と表記するのは止めた方が良いだろう。湖南省に本拠を置く出版・メディア大手の同社は、日本の出版大手の角川グループと合併で月刊マンガ雑誌の「天漫」を刊行し、中国の90後世代に大人気。中国では「中南伝媒」の略称で呼ばれることが多く、日本語では《中南メディア》、もしくは《チャイナ・サウス・メディア》が妥当では。残る A 株の10銘柄は次号にて。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成26年11月27日

## 筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱 UFJ 信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

## ご投資にあたっての注意事項

### 手数料等およびリスクについて

#### ① 株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金) に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ② 債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

#### ③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号  
日本証券業協会 加入  
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040